

# アミダ遺跡

一宅地造成に伴う発掘調査報告 (AM2016-1) —

2021.06.30 富田林市教育委員会

## 1. 調査の経緯

今回報告する錦織中一丁目の調査地は、調査前まで周知の埋蔵文化財包蔵地であった。宅地造成に伴い試掘調査を行ったところ、遺構・遺物を確認した。一帯に残る小字名を採って「アミダ遺跡」として登録し(図1)、計画道路敷の調査可能範囲において、記録保存のための発掘調査を行った。

試掘および発掘調査は文化財課 角南 反馬が担当し、同課 粟田 薫(2018年度まで)、渡邊 晴香が補佐した。また、大澤 嶺、田中 香里、土山 貢代、宇都宮 基子美、貴志 正則の諸氏の参加および協力を得た。

## 2. 遺構と遺物

調査地は低位段丘の傾斜地に位置しており、東西で堆積状況が異なる。遺構検出はすべて地山面で行い、その標高は調査区西端で約 77.6m、東端で約 77.1m である。調査区西半分は、調査前に存在した建物による擾乱を受けている箇所が多かったが(図3-SK65[上])、東半分は最大で4面の耕作面を確認している。

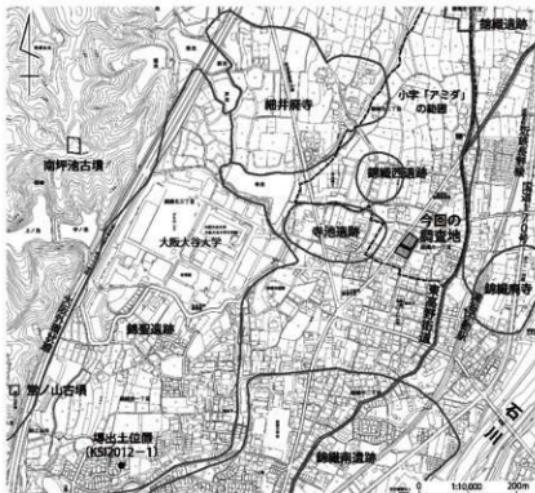


図1 調査地と周辺の遺跡 (S=1/10,000) ※遺跡範囲は調査時

検出した遺構で所属時期が特定できるものは少ないが、6世紀代の須恵器坏身(図3-1)や坏蓋、壺が出土した落ち込み(SX50)がある。須恵器が出土した遺構としては、ほかに SX45 と SP51 がある。SX50 の周辺には、深さ 20cm 前後のビットが点在する。埋土に瓦器片を含むもの(SP33・40・47・51)があることから、中世に掘立柱建物などが存在したとみられる。そのほか調査区東半分を中心に、所属時期が明らかでない不定形な落ち込みや溝などが広がる(図3)。

特筆すべきは調査区西端付近の土坑(SK65)で、瓦器皿(図3-2~4)、土師器皿(同5)、瓦器塊(同6~8)、土師器羽釜(同9~12)、壺(同13~14)、瓦(図4-16~24)などの遺物と、複数の石材が廃棄された状態でまとめて出土した。この土坑は、ほかの中世遺構群の廃絶後、一帯が耕作地化してから掘削されている。瓦器塊や土師器羽釜は12世紀後半から13世紀初めとみられるもので、廃棄された時期を示していると考えられる。

2点の壺のうち、焼成不良のためか土師質となっている1点(図3-13)は、同心円印きが画面に施されている。同様の印きが施された壺は、細井廃寺や南坪池古墳、錦聖遺跡などで出土しており(図1・2)、土坑の遺物の中では最も古い時期に属する。破断面を含めた全体には二次的に熱を受けた痕跡があり、それは廃棄された石材のいくつかにも認められた。

石材のうちの1点には、円形に抉った加工痕(径約9cm、深さ約6cm)がみられたため、遺物として取り上げた(図3-15)。扉の軸受部などが想定されるが、用途は特定できない。詳細な鑑定は行っていないが、

花崗岩と思われる。この石材に被熱痕は確認できないが、石材が一括して持ち込まれたとすれば、7世紀後半から室町時代ごろまで存続したとみられる細井廃寺に関わるものかもしれない。

今回の遺構の配置状況をみると、遺跡が周囲にも広がることは確実であろう。今後の周辺での開発に注意が必要である。

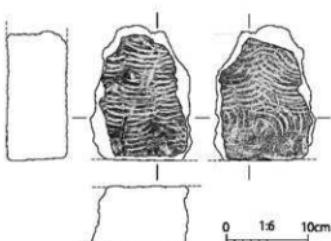


図2 錦聖遺跡(KS12012-1)で出土した壺 (S=1/6)

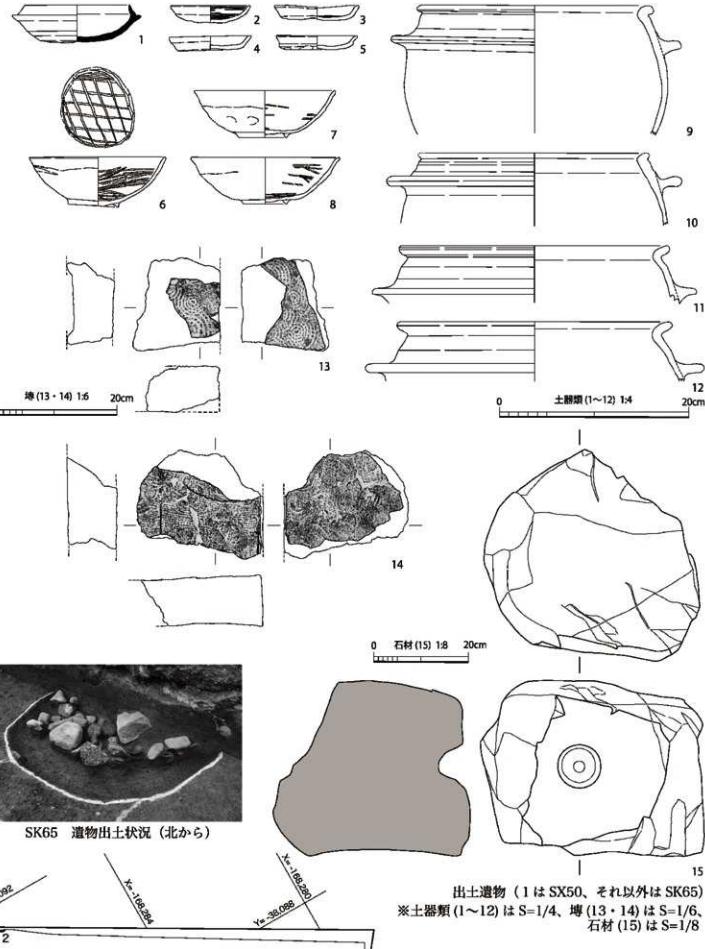
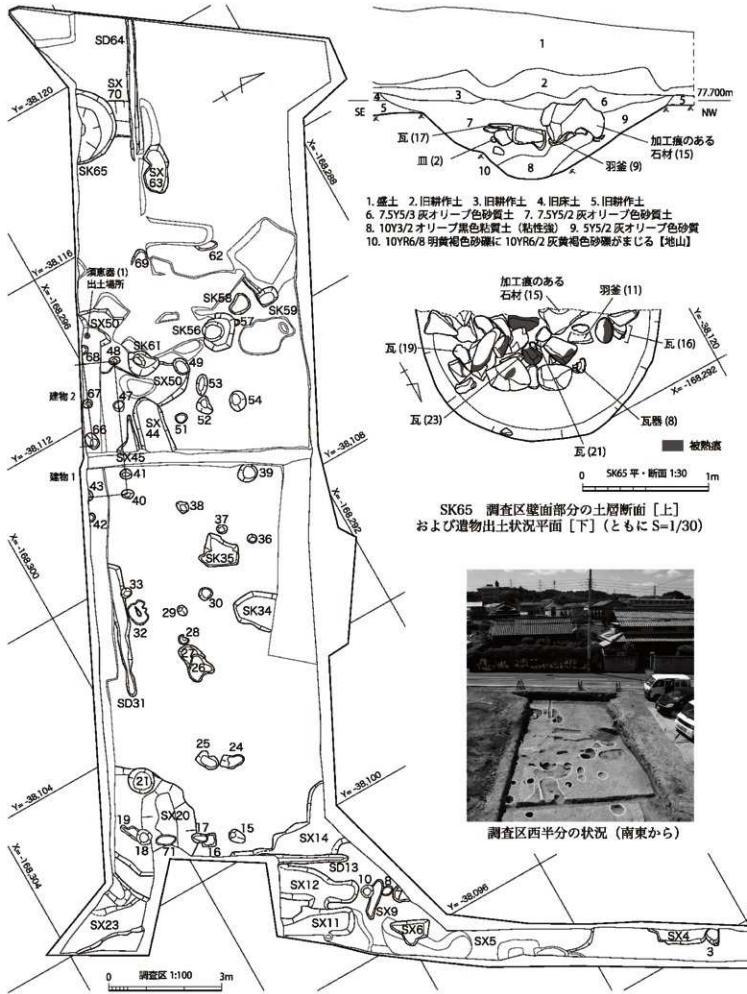


図3 調査の成果 その1

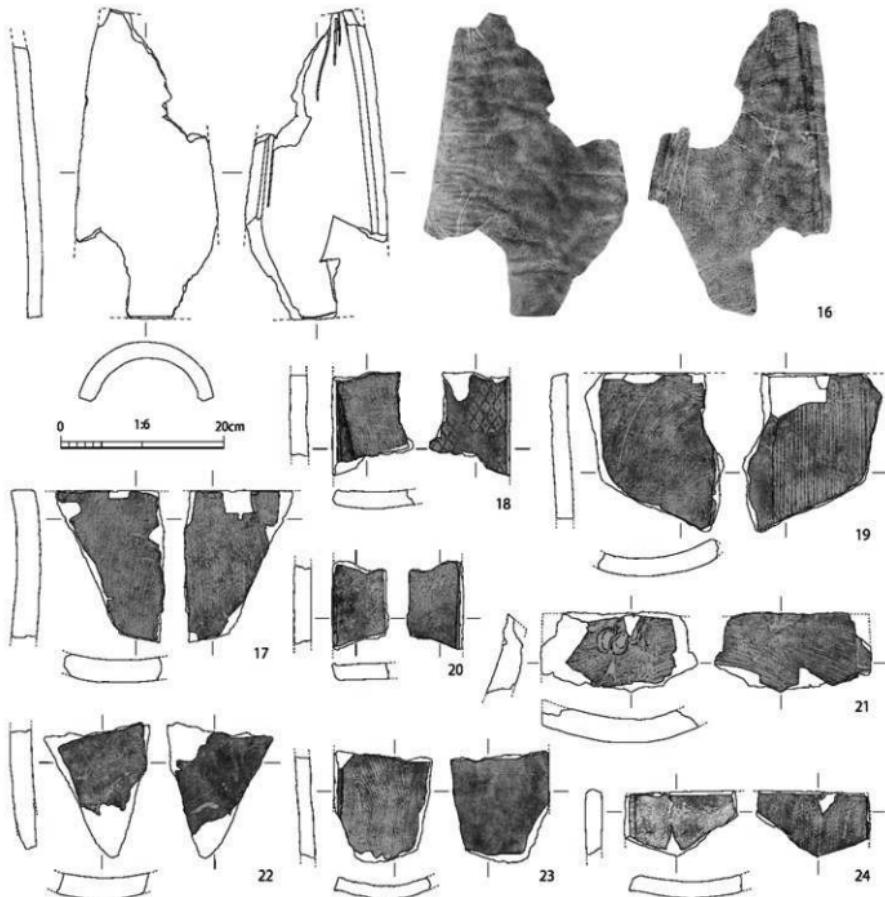


図4 調査の成果 その2 (SK65出土瓦 S=1/6)

報告書抄録

ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東經	発掘期間	発掘面積(m <sup>2</sup> )	調査原因
所収遺跡名	所 在 地	市町村 遺跡番号					
あみだいせき アミダ遺跡	富田林市文化財調査報告						
シリーズ番号	71						
編著者名	角南 房馬						
編集機関	富田林市教育委員会						
所在地	〒584-8511 大阪府富田林市常盤町1番1号 TEL 0721-25-1000 (代)						
発行年月日	2021(令和3)年6月30日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード	北緯	東經	発掘期間	発掘面積(m <sup>2</sup> )	調査原因
あみだいせき アミダ遺跡	とんだばやしにしきおりながいっしょめ 富田林市錦中一丁目	27214 35	34° 28' 55"	135° 35' 6"	20160518 ~ 20160607	243	宅地造成 (記憶保存調査)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
アミダ遺跡	集落跡	古墳時代 ～中世	ピット、土坑、溝、 落ち込み	須恵器、壇、土師器、 瓦器、瓦	古代～中世の遺物が埋葬された土坑から、細井麻寺に関係する とみられる壇と加工度のある石材が出土した。		